

県内で過去最多の百日咳感染者が報告されています

令和 7 年 7 月 10 日作成
山梨県感染症対策センター

全国的に感染者が増加している百日咳について、山梨県内においても第 15 週（4/7～4/13）以降感染者の増加が顕著であり、第 27 週（6/30～7/6）には過去最多（174 人）となりました。また、第 27 週の報告数は 24 人となり、こちらも過去最多となっています。

裏面の予防対策について改めてご確認ください。

発生動向

- ・全数報告の対象となった 2018 年以降、県内での報告数が最も多かった 152 人（2018 年）を超え、今年は第 27 週（6/30～7/6）までに 174 人の報告がありました。全国では 20 週（5/12～5/18）時点で過去最多を超えています。（図 1、2、3）
- ・報告のあった感染者のうち約 45%を 15 歳未満が占めており（図 4）、うち 5 歳未満は 4 人で乳児（1 歳未満）は 3 人となっています。

図 1

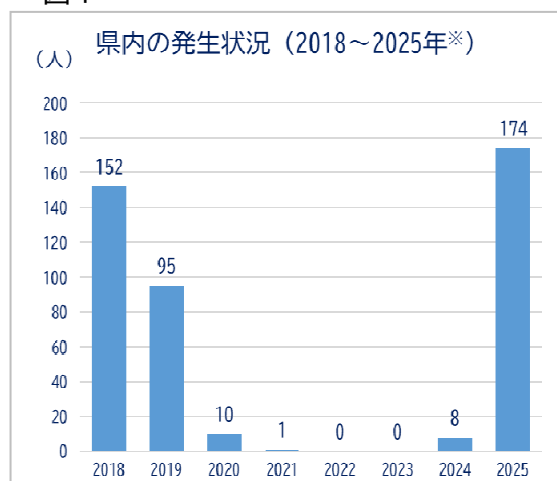


図 2

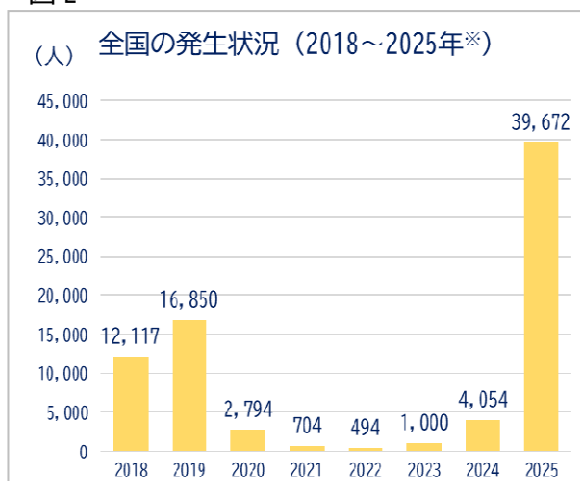


図 3

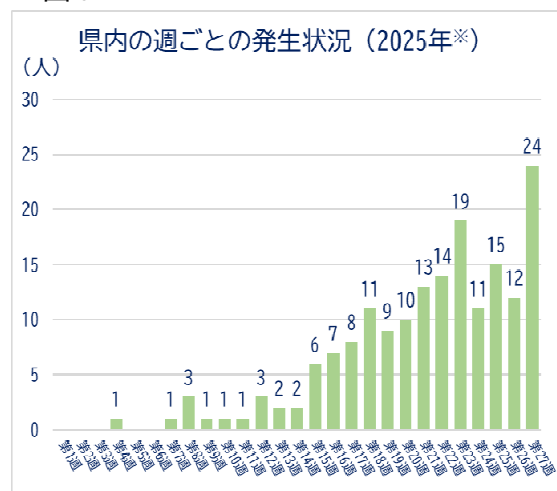
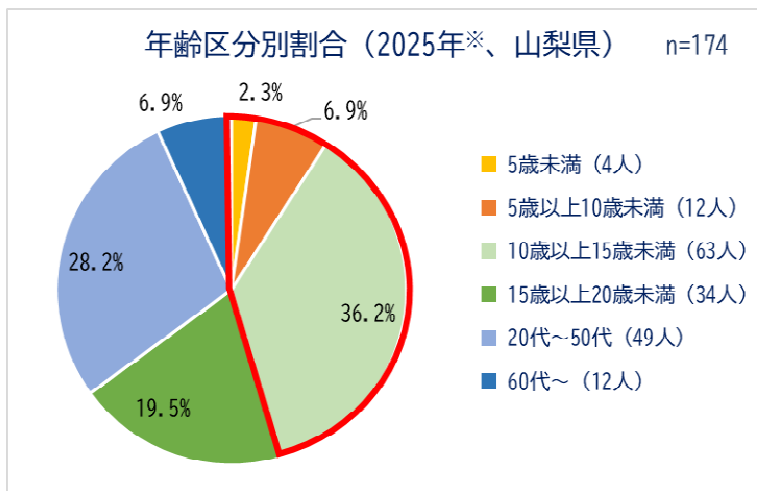


図 4



※2025 年は、全国は第 26 週（6/23～6/29）（速報値）まで、県は第 27 週（6/30～7/6）までの報告数

全国の発生状況は、2024 年までは国立健康危機管理研究機構公表資料

(https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ha/pertussis/020/2504_pertussis_RA.html)、2025 年は IDWR を参照

百日咳について

- ・百日咳菌の感染によっておこる感染力が強い急性の呼吸器感染症です。**発作性けいれん性の咳が特徴です。**
- ・かぜ症状で始まり、次第に咳の回数が増えて程度も激しくなります。乳児では激しい咳による無呼吸発作、チアノーゼ（顔色や唇の色や爪の色が紫色に見えること）、けいれんや呼吸停止に進展することがあります。
- ・いずれの年齢でもかかる感染症ですが、小児が中心となっています。母親からの免疫が十分でなく、乳児期早期からかかる可能性があります。
- ・**乳児（特に新生児や乳児期早期）では重症化しやすく、肺炎、脳症を合併し、まれに死に至ることもあります。**
- ・学校保健安全法上「特有の咳が消失するまで、または、5日間の適切な抗菌薬療法が終了するまでは出席停止」とされています。

百日咳の予防対策（感染症対策センター医師より）

●基本的な感染対策

飛沫、接触感染により感染が広がる感染症のため、手洗い、マスクの着用、咳エチケット等が大切です。**感染者が増加している状況のため、咳が出るときはマスクをつけましょう。**

●ワクチン接種

百日咳はワクチン接種による予防が有効です。

- ①**定期接種の対象月齢（生後2か月）になったら遅れずにワクチンを接種しましょう。**
- ②産まれたばかりの新生児や乳児を百日咳から守るために、妊婦さんが3種混合ワクチンを接種するという方法があります。
- ③3種混合・4種混合・5種混合ワクチンで4回接種を終えた場合も10歳未満で百日咳抗体価が低下することから、就学前の1年間に追加接種として接種することができます。＊
- ④11～12歳の定期接種となっている2種混合ワクチンには百日咳ワクチンが含まれていないため、2種混合ワクチンの代わりに3種混合ワクチンを接種することもできます。＊

なお、②～④は任意接種となりますので、接種を検討される方は早めに主治医にご相談をお願いします。

症状があるときは

- ・咳が長引くときや悪化するときには百日咳の可能性を考え医療機関を受診してください。
- ・受診の際は事前に医療機関へ電話をし、受診方法などを確認しましょう。

参考

厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/whooping_cough.html

国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ha/pertussis/010/index.html>

やまなし感染症ポータルサイト

<https://www.pref.yamanashi.jp/kansensho/hyakunichizeki.html>

※日本小児科学会が推奨する予防接種スケジュール、啓発ポスター

https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/20250523_vaccine_schedule.pdf

https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/20191002_hyakunichizeki.pdf